



長崎青年協会会章
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与することを目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人 長崎青年協会

スローガン 本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう



今月の行事

- | | |
|-----------------|----------|
| 5日 理事会 | 27日 定時総会 |
| 15日 理事会 | ミニ例会 |
| 18日 定例研修会 会場事務局 | |

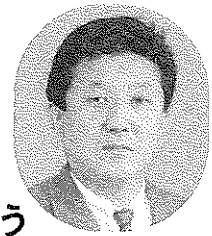
NYA press no.178
April 1994

4

発行 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会 伍会
会長 桑田啓員
編集 広報委員 猿渡
広報委員長 猿渡

新年度会長抱負を語る

平成6年度会長 桑田 啓伍



平成6年度スローガン

本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう

昨年、25周年と言う節目を迎えました。

今までにない新しい事業の展開で、会員の一致団結した成果が現れ、30周年に向けての大きな力になったと思います。

さて今年度は、長崎の市民がこぞって参加出来るような、新しい夏のイベントが計画され進められております。他の団体の方々から、「長崎青年協会もぜひ参加協力してほしい」との懇願が寄せられ、この夏のイベントが、長崎の発展に大きな役割を果たすのなら、地域社会の発展のために活動している、我々長崎青年協会も何らかの形で参加し、持ち前の行動力で、このイベントを盛り上げられるように努力していければと考えております。これから先、長崎の継続性のあるイベントとして位置付ける為にも、全会員の協力なしでは実現出来ませんので、よろしくお願い致します。

今年度のスローガンは、「本気で語らい実行し、そして新たな歴史を創りだそう」です。26年目の今年、長崎青年協会の過渡期であると思います。今一度初心に立ち戻り、本質を見極め、長崎青年協会の将来のために、今年何をすべきなのか、会員一人ひとりが、本気で考え、語り合い、そのための行動を惜しまない姿勢が必要だと思えます。昨年25周年の新たな事業の試みとして「風船バレーボールふれあい in 長崎」と題した大会が開催されました。

参加された多くの方々から感動を頂き、又協会員にも思い出として残る事業となりました。今年も昨年に引き続き開催致しますが、障害者の方々自分達の手で運営出来るよう、又、もっと多くの方々参加出来るように導いていけたらと考えております。

最後に、感動を与え又自らも感激出来る事業とは、企画を提案することだけではなく、企画を提案した人が、より多くの熱意を、どれだけたくさんの人に伝えられるかだと思います。

街づくりは、人づくりであり、人の情熱が次の人を育てて行きます。

今年も懲りる事なく、協会内部においても、地域社会の発展においても、我々の脈々たる情熱を語り続けて行けたらと願っております。

卒業を送る夕べ

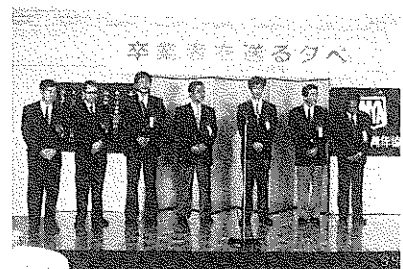
平成5年度 3月例会

平成6年3月22日(火)

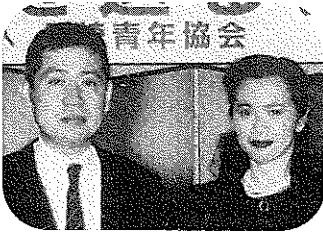
於 ホテルニュー長崎



3月22日、ホテルニュー長崎に於いて卒業を送る夕べが開催されました。森会長より「私は、内部の充実と福祉の部分を大きく行なう事を目標とし事業をやってきました。福祉の面では9月にふうせんバレーを行ない、2月は韓国への海外研修を行ない、いい交流ができました。内部の充実の面では5月に大運動会、1月に25周年記念パーティーなどいろいろな事業に取り組みできました。謹がなく終えることができましたのもひとえにOBの先輩方、また会員の皆様のおかげです。青年協会の一番いい所は、つねに隣に仲間がいる。困った時には、仲間がいるんだという気持ちを忘れずに今からの事業をがんばって下さい。一年間ありがとうございました。」との挨拶があり、卒業生8名が拍手で迎えられました。各会員のプロフィールが紹介され、桑田次年度会長より、プレザーが手渡されました。OB会を代表して浅田五郎氏より、はなむけの言葉があり、伊川健太郎OBの乾杯の音頭で、懇親会が始まりました。



● 卒業者に聞く ●



劉 濟才 君
S53. 2月入会

私が入会したのは昭和53年、24歳の時でした。しかしおじさんの集まりではないか、すぐにやめようと思っていたのを覚えています。それから16年、この間、結婚、3人の子供の誕生、そして念願のマイホーム建築などがありました。とりわけ3男は海のフェスティバルの設営中に生まれ、3日間病院へ行けませんでした。又、マイホーム建築の時は、多くの会員たちにお世話になりました。まさしく私の青春そのものでした。この間にできた多くの友人は、私のかげがえのない財産として、これから生涯の友としてつき合っていけるものと信じております。皆様本当にありがとうございました。

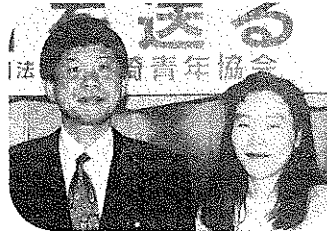
(劉夫人) 婚約中、イベントで協会の手伝いをしました。雨の中仕事の合間をぬって活動をしている皆さんの姿に感動しました。



三根雄次郎 君
S59. 4月入会

三十にして立つといいますが協会に入会してからの在籍期間は私にとって公私ともに非常に充実したものであります。協会を含め様々な会に参加し、生身の人間関係をもつということは人生にとって非常に大事なことだと思います。人との出会いそこに生まれる感動を享受し高揚することこそ人生のおもしろさがあると思います。複眼的視点を養いそれによって人としていちばん大切な思いやりが生まれることこそ協会活動の根本でありましょう！いろいろな意味で楽しませていただきました。一つの節目として卒業ということになりますが、後輩の皆さんあるいは先輩諸氏との協会を通しての連帯感は死ぬまで続くものと確信しています。最後に理事の皆さん私を卒業させていただきありがとうございました。

(三根夫人) 私達家族もボランティアというあまり経験できない事を協会活動を通してできた事がよかったと思います。



中谷 寛 君
S59. 11月入会

青年協会に入会し、10年目の今年、いよいよ卒業することになりました。長いようで「アッ」というまに終わった10年間でした。多くの事業に参加し多くの人と知り会えたことは、私の自信となり大きな財産となりました。もっと積極的に活動できたのではないかと思う事もありますが、悔いはありません。これからは青年協会のOBとしての自覚を持ち行動をしていきたいと思えます。今後益々、青年協会が発展されることを心よりお祈り申し上げます。(中谷夫人) 10年間、本当にお疲れさまでした。これからは家族サービスの方も力を入れてもらいたいです。



沼里 勉 君
S60. 6月入会

いい思い出ありがとうございます。私が長崎青年協会に入会したのは昭和60年6月、今年で9年目になります。卒業の年度に思いがけない勤務先のアクシデントがあり、諸先輩の皆様や現会員の皆様方に大変ご心配をおかけいたしました。同じ制服業界で新たに第一歩を始める事ができ、こうして、無事卒業できるのも、ひとえに、皆様方の温かい励ましのお陰と感謝致しております。今後の青年協会のすばらしい発展を心よりお祈り申し上げます。

(沼里夫人) ボランティアには、向いてない主人がよく続いたと思います。主人は卒業していきますが協会事業にいろいろ参加してたくさんの思い出を作れた子供は、協会に残したいくらいです。そしておくんち広場はもっともっと続けて下さい。



森 保博 君
S60. 7月入会

会員皆様の暖かい協力で、1年間会長としての責任を果たす事が出来ました。本当に有り難うございました。あと1年直前会長として在籍

しますのでよろしくお願ひ致します。私は9年間の協会活動を通して多くの先輩、友人と出会う事が出来ました。私にとって一番大事な財産です。青年協会とはハートそして無欲の行動だと思います。本年度も桑田会長のもとと感動とふれあいを大切に、色々な事業に取り組んでさらに飛躍すると信じます。

(森夫人) 家族全員で参加しました。協会活動中、主人は少年のような顔つきでした。生きがいだったのでしょ。



岡村 一憲 君
S63. 5月入会
この時期、いろいろな先輩方を毎年送り出していたら、いつのまにか自分の番になって

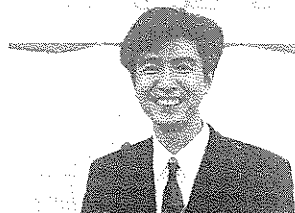
しまいました。あつと言う間の6年間でした。その間卒業してからも家族ぐるみで付き合い合っているたくさんの友人が出来ました。これは、私にとって青年協会がくれた最高のプレゼントです。心から『NYAよ、ありがとう』と言いたいと思います。

(岡村夫人) 主人より私の方が協会会員みたいでした。いろんな思い出を創ってもらい、私自身が一番たのしみました。

松本 貞臣 君

S62. 7月入会

6年前、友人に「いろいろな人と出会えるから楽しいヨ」と勧められ、又、私と同じ世代



の仲間達は今何を思い毎日を過ごしているのか、他人の心を覗いて見たい好奇心にもかられ入会したのです。楽しい人、真面目な人皆それぞれ独自の人生を過ごしており自分の人生にも多大な影響を与えてくれた事は間違いありません。もう卒業ですが、縁がきれいな訳ではないのですから、これからも気軽に会えたらと思います。そんな事より今夜暇な人は一杯いかがですか。



山下 一正 君

H1. 4月入会

お世話になりました。仕事の事情でなかなか出席できませんでしたが、会員の皆様

の御陰で青年協会を卒業できることになりました。ありがとうございます。今後の青年協会の御発展を、心よりお祈りいたします。

平成6年度 新役員紹介



直前会長

森 保博 君

今年1年は、冷静に理事会を見守っていききたいと思います。



監 事

中村 善人 君

早いもので、もう青年協会最後の年になります。

大変な年もありましたが、充実した20代、30代だったと思います。今まで多くの経験をする事ができた青年協会、又大変お世話になった会員の皆さんのために少しでも役に立つ様残り1年悔いのない様に頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



監 事

船津 信三郎 君

卒業する年度にあたり監事に任命されあと1年理事会を微力ながらも支えていきたいと思っております。62年に入会してあつという間の8年間でしたが、今年が最後の年だと思うと何か寂しい思いがします。桑田会長のもと、皆言いたい事を言って本音の付き合いをして行きましょう。最後に皆様の御協力の程宜しくお願ひいたします。



事務局長

張 仁春 君

事務局長就任に際して、今年度事務局長を仰せつかり心を新たに

してこの重責を担うつもりです。事務局が(社)長崎青年協会の窓口として機能できるように事務の合理化、通信態勢の確立などを努力目標に活動して行く所存です。

又、協会の未来を見据え、今後の活動の基礎を考え、研究して行きたいと思ひます。



副会長
新ヶ江 憲和 君

本年度の副会長は、担当する委員会もなく、何となく寂しい感じがしない訳でもないです。もう一人の田川副会長と力を合わせて会長の足を引っ張り、室長たちに煙たがれても役員会や理事会を楽しく盛り上げたいと思います。



副会長
田川 俊幸 君

本年度、副会長に命じられ自己本位の『チャレンジ精神』で、張り切っております。今までにない組織的立場をうまく活用して会員と役員のパイプ役なればと思っております。今年一年、皆様と共に勉強させていただきますのでよろしくお願いいたします。



総務室長
和田 正信 君

本年は、総務室長という大役を承り、大変緊張しております。昨年初めて委員長を経験し、一つの委員会をまとめる事の難しさ運営していく事の大変さをつくづく思ったものです。今年は、昨年の事を教訓にし各委員会がスムーズに活動できる様バックアップして行きたいと思っております。どうぞ会員の皆様、例会・総会の出席、広報誌への記事の提供など御協力の程宜しくお願いいたします。



会員室長
永田 吉朗 君

研修、会員開発、交流の3委員会を担当させて頂くことになりました。室長の役割は、各委員会の活動が円滑に進むようお手伝いする事だと考えています。各委員会にできるだけ参加し他の委員会の意見も参考にし一委員会に限定されない少し広い視野からの助言を提供することができるよう努力します。外部に対しては青年協会の存在と意義を広く知らせることで会員数の増加を図り、内部に対しては参加意欲を引き出して活性化を図ることが、会員三委員会に求められています。そのためには会員相互の交流が魅力あるものになっていかなければなりません。みなさん御協力よろしく申し上げます。



事業室長
合六 忠 君

我々協会も25年目を節目に本年度から更に対外的に評価を頂きながら新しい活動へと飛躍しつつあります。今までの先輩諸氏の努力の成果であり、今年事業室長という重責のもと皆様の手足となって新たな礎を築く事ができればと意を決しております。私事、未だわからない点が多々あります(なんせ冬眠が永かったもので) 皆様の御指導を仰ぎながら行動を力に猪突猛進致します。



企画調整室長
伊藤 克樹 君

長崎青年協会も、今まで以上に他団体と力を合わせ長崎の事を考える時期が来たように思われます。特に対外との橋渡しを担う企画委員会と地域事業委員会のメンバーと共に長期的ビジョンを考慮しながらグローバルな視野を大切に頑張っていきたいと思っております。会員皆様の御協力を宜しく申し上げます。

◁菅原日嘉里さんお疲れ様でした▷

日頃から協会の事務処理で大変お世話になってます菅原日嘉里さんが退職される事になりました。我々会員は、菅原さんのおかげでどんなに助かった事かと思っております。本当にお疲れ様でした。



会員の皆さん、協会活動いつもお疲れ様です。一身上の都合でどうしても、協会を退職することになりました。日頃から皆さんにはお世話になり、これからも「心ある事業」を多く手掛けていかれる事を期待しております。
P.S. 皆さんの私的な秘密は、私の胸だけにしまっておきます。



新しく入られた事務局員の橋本和香子さんです。
S36.3.7生 血液型A型
住所 長崎市緑町2番3号
電話 46-2515
宜しく申し上げます。

ポルトガル in 田川

去る3月20日～3月28日にかけて我等の有志田川俊幸君が、(社)日本ポルトガル協会主催の日本・ポルトガル友好450周年記念「草の根交流」事業に青年協会を代表して参加してきました。この事業は、日本・ポルトガル交流450周年記念で日本の細川首相とポルトガルのソワレス大統領が市民レベルでの交換会を目的としたものです。尚、この内容につきましては5・6月号で詳しく御紹介する予定です。おたのしみ!



OB会入会式

平成5年度卒のOB会入会式が、4月2日、初天城にて行われました。

劉済才さん、森保博さん、岡村一憲さん、三根雄次郎さんの出席の中三浦OB会長挨拶、渡辺OB乾杯の音頭ではじまりました。恒例の、入会杯(5合)の儀も執り行われ無事入会式も終了致しました。



早朝野球同好会

今年の青年協会ソフトボール同好会は、ひと味ちがう!なんと史上最多243チーム参加の長崎市民早朝野球に出場するのだ。新々江副会長を監督とする長崎青年協会チームの第1回戦日は3月25日、長崎商業グラウンドにて相手チームは「楽屋」。何回もの練習に練習を重ね、さあ、いよいよ早朝6:30プレーボールの声がかげられた。あっという間の大勝利にみんな万歳の大喜びである。なっ!なんと相手チームが1人もいないではないか?そうです、正々堂々たる不戦勝だったのです。しかし勝って兜の緒をしめよ。2回戦に向けてがんばって下さい。今度は会員の皆さんも応援に来て下さい。



テニス同好会

3月17日トレディアテニスクラブにて9名の参加。ダブルスのトーナメント戦を行い伊藤・池田チームが優勝しました。



原 喜一郎君の第2子 久美子ちゃん

長女 3/12(土) AM9:59 出生 3,110g 予定より3日早かったそうです。

井上 英夫君の第2子 貴博君

次男 3/19(土) AM8:30 出生 3,510g 予定より6日遅れだったそうです。

おめでとうございます。

●甦れ! 歴史人物100選 (表紙説明) ●

長崎にゆかりのある人々を広く紹介し、これらの人々の業績を学ぶことによって長崎の歴史的役割を再認識し、今日のわたしたちの“まちづくり”、“ひとづくり”に貢献できるような活動として以前地域社会委員会で「甦れ! 歴史人物100選」事業に取り組みました。現在も有志を調査活動を進めています。これらの一部をシリーズで紹介します。第1回目は古写真の提供で協力をいただく「亀山社中ば活かす会」にちなみ、亀山社中をテーマに坂本龍馬、陸奥宗光を取り上げ人物及びゆかりの地を紹介します。

人物紹介

坂本龍馬 (1835天保6～1867慶応3)

土佐藩高知の生まれ。勝海舟の知遇を得、明治維新に大きな功績を残した。長崎では日本最初の商社「亀山社中」創設ほか1864元治元～1867慶応3活躍。明治維新を前に京都で暗殺された。

陸奥宗光 (1844弘化元～1897明治30)

紀伊国(和歌山県)の生まれ。坂本龍馬、勝海舟の下で活躍。維新後新政府に出仕し外務大臣を務め日清戦争後の下関講話会議では日本全権となった。長崎では、坂本龍馬と同時期に活躍した。

ゆかりの地紹介

亀山社中の跡

伊良林町: 現在も当時の面影を残す。ここを訪れば幕末の話が聞けます。

土佐商会の跡

浜の町アーケード入り口付近: 海援隊発祥の地とされる。

「亀山社中ば活かす会」の紹介

写真提供で協力をいただく「亀山社中ば活かす会」は、亀山社中の再生利用と“ルート龍馬がゆく道”の開拓で伊良林・亀山社中の再発見を図り、未来の長崎に活かしてゆくことを目的とした会として様々な活動をされています。